

# バストス週報

第1566号  
昭和五十二年  
五月二十三日  
月曜日発行  
Diretor  
Koiti Mori  
Redator  
Shoho  
Miyatake  
Rua.10de  
Novembro 882  
C.Post.112  
Fone: 340  
BASTOS  
E.S.P.  
Anual  
Cr. 井  
110.00  
前 金  
Adiant.

溪流 21

無駄話

## 田中は無罪になるか

○誰でも「無罪」というものがあつて、何も前総理を逮捕して裁判にかけ、無理矢理有罪にせんならんことあるまい、と田中の角さんに同感し「すでに逮捕しただけで充分こうしめておいてはいいか」と言う人もある。もっと同情する組では、逮捕前に指揮権発動してしまえばいいのに、噂した程である。

ところが、その反対に、田中を目の仇にして、「あんな金権政治家など、ぶち込んでしまえ」と彼の失脚に拍手して喜んでおる向きもある。このうなりや、とことん裁判で争い黑白をつけるしかない。

○一月二十七日日第一回公判以来五月上旬までに二回ほど公判があつた筈だが、詳細な記事を見ていないので、どんな具合に攻守展開しているか、知るよしもないが、検察の起訴状に対して、田中角さんは「賄賂など受取ってはいない」「全日空機種など預まされたおぼえはない」と、ロッキード事件を全面的に否定した様子である。


○昨年末の総選挙には保釈中にも拘らず、新潟県第二区から立候補し、十六万票もとって当選している。選挙運動中も

「五億円収賄など絶対にないことだ」  
「一国の総理大臣が民間会社の飛行機購入に一々くちげしを入れるわけがない」とぶつておる。越山会の人々や、選挙民は、なるほどと思つてはいたかも知れぬが、公判の時もやはり否定している。しかし、ロッキード社の東京支店長クラッタ氏から丸紅の大久保、伊藤などを通して、四回にわたつて五億円が田中側へ分納されていることを検察側では調べ上げている。

金け丸紅の運転手がダンボール箱に入れて、目白の田中邸に運び、田中の秘書が受取つておるが、その関係者は、取調べを受けて皆、それを認め居り、田中の運転手(笠岡)も関係者の一人であつたが、途中で自殺してしまつた。

○そういう金を田中は知らぬといひ、受取つていないと公判庭で否定しているわけだが、田中は勿論レシーボは出してない。そういうことになるか、関係者の証言だけで立証してしまふものであろうか。簡単なようで此の裁判は中々むずかしい形相である。田中の秘書はダンボール箱を受取つて、田中に報告した筈だが、田中が知らぬとすると、秘書は、中間で猫バハしたことになるが、一寸それも信じられぬ話だ。おそらく田中は賄賂を受取つていないと申し立てても、検察側は「人の言を取り上げて有罪へ

UAKA  
高級  
CREME  
あかクリーム  
美しいお肌が生れるひみつ...説明入り



WAKAMOTO  
耐病に 仕事に 効強に 運動に 体力

VIGOR FISICO  
ENZIMAS+COMPLEXO D+B+MINERAIS



FLORA BASTOS  
T. MORIMOTO & FILHOS LTDA.  
Rua Duque de Caxias 254 - C. Post. 171, Fone 29.

生活の安定に備えて果樹園の造成を  
果樹園成功の秘訣は良種の苗を選ぶこと、  
良種の苗なら農林省公認の最も信用ある  
フロラ・バストス・森元苗木本舗  
で御相談下さい。親切に御説明いたします。  
蘭の新種改良種の苗は全苗の有名な蘭園と特約  
して居りますので安価に提供いたします。  
果樹苗の外、花木、庭木、盆栽用、鉢植用、ツツジ  
ツバキ・モミジ・モクセイ・ヒイラギ・杉・杉等か  
ら観葉植物、植林用樹の苗等一切

森元苗木本舗  
電話 一一九番

持ろ込むであろう。過去に於ても一九六八年日通事件で起訴された元社会党参院議員、大倉精一は収賄を否認したが、東京地検は賄賂側の日通重役五人の供述が一致しているの証拠と見做し、大倉に有罪判決を下した。(但し同氏は控訴中病死)の例がある。だから本人が否認しても外堀から攻められれば危いことになる。専門家は見ている様である。

○田中側は弁護士を十八人もたのみ込んでおるが、元検事長・検事正、判事といった顔振れで、田中専門が四人、全日空が四人、丸紅が三人、

あと佐藤孝行、橋本登見二郎、橋本秘書等に分れている。

○攻守の争点は「請説」と「受説」になり、トライスターにお願います、よし承知した。という点からは、きりすれば賄賂となるのであり、でなければ金は献金となって無罪となるという、きわめて微妙な関係となるものらしい。総理大臣の職務権限なども守備側から持ち出して、総理が一々裁種決定などに口を出すことにはあり得ないと言う論陣も張られるだろうという。

○裁判とは別に国税庁では田中に対し、五億円の収賄に対し近く納税期が切れるので、追徴税まで含め四億何千万円の納付通知を出している由だが、これの継争問題にたつたろう。

○受取っていない五億円の所得税を払う馬鹿も居まいが、逃られては一大事と先手を打って、田中の財産差押えをするとか、いやはや賑やかなことだ。

○検察側では結審をいそいでいるので、二年ぐらいて判決へ持ちこもうとしているらしいが、早くて三年はかかると思われる向きもあり、控訴、最高裁、と頭張る打ち、まあ十年ということになり、ともぞれまで寿命のもたぬ人もでてくるだろう。

吾々法律にくらい者が臆測するのも馬鹿氣た話だが、角さんの希望するようには晴天白日の身になって、再び政敵の座につくと高う員合には行くまい。かりに十年未満に片付いたとしても田中さんの年齢は七十近くになり、今の福田老々らしいで、やっつてやれぬことはあるまいか、政界の機相が、どのように変化するやら、或はもう田中角さんが出る幕ではなくなっているかも知れない。あてずっぽうに云って、証拠は不充分、無罪ということですのばけっ、こうだが、政敵の方は、先ずむずかしいだろう。完

赤音

### 狸の説法 12 血迷っている本願寺

○高森顕微という人の著書「白道燃ゆ」を見ると、一九〇頁に表題の記事が出ているのである。かねて東本願寺の内紛が新聞の夕木になっていたので、そのことかと思つたら、西本願寺のことであつた。高森という人は自ら非僧非俗といっているだけに中々鋭い観察をするようだ。以下その項を再録して御参考にして見よう。

西本願寺が、総工費二十五億円をかけて、十階建のマンモス納骨堂を建設した。京都で二十五億円の建造物といへば、国立国際会議場に次ぐ巨大なものである。すでに今日では宗教施設の大きさを誇ること定まれば、としていられるノンキな時代でないこと位、判らなないのであろうか。しかもた、大衆は仏教を以て、葬式仏教と罵倒し、墓番だと嘲笑してゐる。そして葬式屋となり下つた坊主共に愛想をつかした大衆は、濁々と舌の濁流に押し流されて新興宗教の邪教に走っている。



## INSTITUTO DE OFTALMOLOGIA DE TUPÃ

Clinica e Cirurgia de Olhos  
Prescrição de óculos e lentes de contato

Dr. Isao Umino  
Dr. Luiz Carlos Alves Negrão  
Rua Carijós n.º 278 - TUPÃ Fone: 2903

### 眼科専門医

ツパン市ロドリゴ・アリアス前には診療所を開けましたのでバスター出張が不可能になりました。つきましては治療中の方、又診療希望の方、眼鏡の度数測定の方は遠路誠に恐縮ですがツパン市ルアカリョススの診療所までおいで下さるようお願い申し上げます。  
診療時は日曜祭日以外は午前八時より十二時まで、午後三時より六時まで。尚 INSS 受付けて居ります。

Dr. 海野 勲

Dr. ルイス・カルロス・アルブス・ネグロン

と門徒衆をお預りしている重大責任を忘れて、葬式や墓番を本職のように心得ているま、か、意識しようとして、しまいと門徒衆を邪教に追いやり、この世も未来も地獄へ突き落している結果になつていふのだ。まして、いわんや「親鸞眼せば加茂川に入れぬ魚に焼くべし」と御遺言された親鸞聖人仰いでいる本願寺ではないか。この聖人の御遺言を本願寺は一体何と味わっているのだろうか。すこに覚如上人の御教化のように、この聖人の御心は明らかだ。セミのぬけがらのような肉体や白骨後仕末ばかりに心を奪われて、後生の一大事の解決（信心決定）を忘れて、この世も未来も、無間の火城に沈まんとする愚かさを、しましめられたものである。

地の解決をして、生きてよし、死んでよし、善も欲しからず、悪もおそれずの、絶対の自由人にさえなれば、屍や白骨の仕末なんか問題にならないのだ。「葬喪を一大事にすべきに非ず。もつとも停止すべし」とまで、覚如上人は言明されているではないか。死者を丁寧に葬ることは、生命そのものを重んずることなのだ、とも云えるが、それならば尚更、その生命の解決（信心決定）こそ緊急を要することになる。

「一日も片時も急いで信心を決定せよ」の蓮如上人の御言葉に、ただ準ずるのみである。では本願寺は何に血迷って、親鸞、覚如、蓮如上人の方の御金言に迷わつてまで、かかる納骨堂を建立したのであろうか。

聞くところによると、このマンモス納骨堂を建て

て、大型一基五十万円で四千基、小型一基三十万円で一万二千基を分譲し、総額五十六億円の設備費を計上している。その備付た金は、親鸞聖人御生誕八百廿六法要の基金に使用するのだから、悪くはないからう。と宗門等けて慈悲を呼びかけている。「何と云うことも先立つものは金である」

「賚すりや鈍する」とは、まさにこのことで、親鸞聖人が、血の涙を流していられるのが信眼に見えるではないか。

真宗を破滅させるものは外ならぬ、真実の信心をわきまえない真宗の道俗なのだ。

以上、高森氏は厳しく宗門の納骨堂建設を批判して、一見痛快にも感ぜられるが、論議の分れる余地もあると思われぬ。親鸞聖人が「わしが死んだら加賀川に流して魚の餌食とせよ」と云われたが、まさか水葬にするわけにはいかなかったであろう。

西本願寺が金儲けを目標として二十五億円を投じて納骨堂を建立し、これを一万六千人に分譲して五十六億円入ると、差引三十一億円のもうけとなる。こういう事業は、お寺だから出来るのであって、営利会社では多分できなからう。本願寺側にも云い分はあろうが、京都のドマンナカに墓所を築き、大金儲けをやってのけるという企業的精神を批判したものであろう。

実際バストスなどでも墓碑に金をかけるようだが、今時一寸した墓碑なら一万コントもかかるだろう。筆者も墓の美しいのは好きだが、死者は土まじり中であらうと、ピラミッドであらうと、わけは判らぬ。飛道族だけの見得と感得であらう。墓に金をかけるなと言ったなら「大西」さんが怒るかも知れないな。

糸音

### 高森頭徹氏に物申す

宮武勝甫

筆者は高森の著「白道燃ゆ」と云う書物は読んでいないので、同氏が何の目的からこの本を書かれたか知る由もないが、標題は「白道燃ゆ」とあるからには親鸞御遺徳に及ぶ（後の覚如上人を勘当した善鷹の長子）を執刃に呼び、燃ゆる白道を通って彼岸（極楽）への信仰の心構えを法華経の譬喩品第二ツからひいて論じたことから来たものと思われる。

右文章中にもあるように親鸞は遺言として「わしが死んだ後決して廟を造るな、屍は買取に投じ魚に与うべし」とあるが、その親鸞の遺言があるにも拘らず、覚如上人も、親鸞の末娘孫女も親鸞の屍を加茂へは捨てず大谷の里に御本廟を建立した。

覚如はその上山科の里に本願寺も建立して「弘宣正法」につとめた。八代目の蓮如は大火の島に本願寺を焼失したが、再び石山に本願寺を再建した。この大谷御本廟と本願寺なくして今日の浄土真宗の尊い訓を伝えることが出来たであろうか。尤も親鸞は遷化に到るまで一宗派の祖師だと自分自身で思っ

ては居なかったことである。これは、親鸞作の御和讃にもうかがうことができる。浄土真宗の御和讃の智慧光ノチカラより、本師源空アラハレテ、浄土真宗をヒラキツツ、選擇本願ソベタマフとあるから、浄土真宗の教祖は自分の師である源空聖人（法然）だと思っていたのである。又自分決して立派な人間とも思わなかった。

愚弄悲歎の遺恨として次の和讃がある。

○浄土真宗に帰すれども 真実の心けありがたし  
虚假不実のわが身に 清浄の心もさうになし  
○悪性さうにやめがたし 虚假の行とそなづけたる  
修善も難毒なるゆえに 右の和讃の云う如く、親鸞は、自分ほど罪深いものはないと信じていたから、廟を造るな、屍は加茂の魚に与えよと遺言されたのである。遺言されたから本願寺は必要ないと言えらるだろうか。寺を維持するには莫大の経費が必要なことには誰にでも分るが、その費用は一体何処から出るか。真宗の寺では加持祈禱などの収入がない、外の宗門では加持祈禱による収入、カトリックでもミサの収入があるが、真宗では御法話の布施と葬式御法要の布施の外の寄附による道加参拝者の募金くらいなものだ。

戦前の寺社は知行の田地が大抵あった。神社でも政府から村社、郷社、中社、大社等と社格により維持費の補助があったが、戦後は知行の田地はただ同然に買いとられ、寺も神社も宝物の拝観料をとって収入の道を構じた。大抵の大本山といわれる寺では慈善事業を戦前

### 法話お知らせ

日時 来る六月二十六日(日)午後二時

場所 バストス総合会館

講師 ツパン西本願寺

### 寺井開教師

バストス明老会は「時にはお寺さんの法話もよからう」と存じ、左記のようにツパン西本願寺に新任の寺井先生にお願いして法要と法話の会をいたします。御近所お誘い合って、どなたもおいで下さい。

### バストス明老会

各位

通り継続しているが、これらの費も馬鹿にはらぬ。これらの貧乏世帯のやりくりが何処の本山でも会計を預かる役僧の仕事であり、この役僧の手腕によって本山の事が発展するか、否かにかかっているのである。

本願寺では祖師親鸞聖人の生誕八百年大法要を目撃にひかえてこの大法要の費財捻出に頭を悩まし、未寺から割当で徴収するにも、そのホキも貧乏しているの、これも不可とすれば、門徒檀家から寄進を仰ぐより道なく、同じ寄進を仰ぐなら納骨堂建立の名目か、只で金を集めるよりましだろう。豪華な納骨堂は京都の名物となり、参詣者もふえ、観光客も増すであろう。

高森という人はどんな人物か知らないが、納骨堂に二十五億円もの大金を費すことが、親鸞の御意志にぞむき、心信決定のたまげとなり、浄土真宗の破滅のもとになるというが、寺の荘家は宗門の法域であり、宗政には欠くべからざる殿堂だ。現存急激に信者の増えている新興宗教を見れば誰でも合点の行くことではないか。大和の天理教の立大なる建物を見よ。大本教、生長の家、PL教団の本部は本願寺の教団の支蔵さである。

富士山麓の日蓮正宗大本山大石寺の各殿は驚くのかれ三百五十億円を費して再建されたものである。大真宗の法城本願寺の多宝塔としての納骨堂建立に二十五億位はあまりにもお粗末だと云いたい。日蓮正宗の三百五十億は無理だろうが、その半分かもしくは三分の一くらいかけてもよいと思ふが、多宝塔のみに金を使つてもなるまい。親鸞生誕八百年大法要を盛大に営むには仕方があるまい。

吾々浄土真宗の流れを汲む者にとつては来べき聖人生誕八百年大法要は出来る限り盛大に営んで貰いたいと希望するが、高森さんと云う御仁、これも貴方は親鸞の御意志にぞむき、真宗破滅の基だと云われらなら、貴方自身がこの大法要資金はこうした方法によつて捻出すべきであると、貴方の考える策を提案すればよいではないか。折向本願寺の役僧達が考えた末、其に移すとき横槍の批難は邪魔にこそなれ何の役にも立たないのみか、それこそ真宗七百万の向隅を迷わすだけであると申上りたい。終り

### 寄稿 海の魅力

梶山 双樹

蘭公園は美しい。たボスケの中の水々には各種のデンドロ口が植付けてあり、公園を自然其の儘の姿に再現しようとする趣向、蘭公園らしいなかなかなよい企画である。公園内には七層に二十位位の蘭小屋が三棟ばかり並んで建っている。市営というだけに、蘭小屋と云うには余りにも立派な建物である。中には何千株ものカトレアが新らしい鉢へ植替えられている。手入れが悪いのか、植傷みかひどく、バスターの愛好家の蘭とは比べものにはならない。蟹入物言わぬ蘭と雖も、わが子を育てる愛情がなければ、やはり綺麗な花は咲いてくれないのではないか。公園を辞して表に出ると、トリーヌと書いた観

FABRICA de GRANITO  
Av. Rio Branco % C. Post. 23. Fone 515  
ADAMANTINA E. S. P.

日本式及ブラジル式  
墓 碑 記念 碑  
胸 像 石 燈 籠  
石 白 も ち 白

石材美術彫刻類一切製作  
古い墓の修理もいたします  
アダマンチーナ市リオブランコ大通り

大西石碑工場  
大西文吉 郵函 二一三番  
電話 五一五番

マッサジスタ  
御来植下さいませ

奥田稔先生 再度の施療  
五月二十日・二十一日・二十二日の三日間  
バストスへ来ていただくことになりました。  
今月もわずか三日間ですから、慢性の痛みをお困りの方はこの機会に是非先生の治療をお受け下さい。  
特に慢性の肩のこり、頭痛、腰痛、めまい、不眠症等  
治療所は、今回も同じく  
ロド、ピアリオ前

ホテルうさぎみ

光バスが来ていゝ。蘭公園は其の名が広く世間に知られていゝからだろう。

今度はサンピセンテの橋の袂へ車を廻した。サンピセンテの市街は先日登ったイーリマ、ホルシャの頂上からもよく望まれる。海を隔てたサントスの市街地からも統括している町である。

サン、ピセンテの橋へ通する石垣の袂から海中へ三、四十位は入った所に十位位の石の塔が立っている。何か謂れがありそう。

一人のブラジル人に尋ねて見ると、マルコ、アントニオを記念して建てられた塔だと云う。マルコ、アントニオは、四百二十三年前、一五五四年にサンピセンテの入海の此処に漂着して、ブラジルの土を始めて踏んだ歴史の人だ。マルコ、アントニオに依つてサントスが開かれ、サンパウロが拓かれ、今日のブラジルがあるのだと云う。

サン、ピセンテの海はマルコ、アントニオと共に最初にブラジルへ黎明をもたらした海として、歴史的にも大変貴重な存在だと、土地の人は誇らしく私達に斯う語ってくれた。

○ 偉大なる史蹟の塔や夏の海  
私達はサンピセンテを思わぬブラジルの貴重な歴史を知って、又再びポルト、フライアへ車を走らせた。今から遊覧船、ロイリンニマ号でサントスの港内を一周しようとするのである。遊覧船ロイリンニマ号の波止場はケワルンマへ渡るバルサの少し手前で、波止場の圓には数名の蟹捕の子供が蟹を捕えている。一層位のアラメの蟹捕機で蟹の殻を引掛け

# Lançamento do Selo de Bastos Contenário da Filiação do Brasil a UPU.

Desde a fundação da cidade de Bastos, que este ano se comemora o seu Quadragésimo aniversário, esta será pela 1ª vez que participa de um lançamento que será mais um data a constar no histórico da cidade, que levará ao povo Bastense desde a Criança ao adulto, não havendo assim a dissimilação das raças, dando a este povo que ridô o ideal de investimentos que hoje é o campo da filatelia.

A filatelia hoje um dos fatores importantes na educação pois através de seus Selos e seu histórico que desenvolvemos a mente do educando, os seus manejos com os Selos, como colecionar e um fator que abrange o campo da educação. No dia 25 de Maio de 1977, comemoramos mais uma data do Centenário da Filiação do Brasil a UPU. Fator este que se deu em 1874, onde pela 1ª vez foi realizado o 1º Congresso da União Postal Universal na cidade de Berna - Capital da Suíça.

Sendo que este País constituiu uma verdadeira interculturalização Europeia, onde as principais funções da UPU, se constituem em Conselho Administrativo, Conselho Executivo, Comissões Especiais e a Secretaria Internacional.

O decreto em que o Brasil passou a fazer parte da UPU foi de 15 de Maio de 1877, pelo decreto nº 6581, assinado pela Princesa Isabel.

Será lançado uma série de 4 (quatro) sendo a sua pintura de Porto Seguro, que marcará a vez para parte de uma Arque que é a Filatelia.

A Diretoria e Agente Postal tem a Honra de Convidar V.Sas. para participar dos Festos Comemorativos que será realizado no dia 25/05/77 as 10 horas na Sede da Associação NIPP - Brasileira e Bastos (KAIKAN) Convidado com a Honrosa presença do povo Bastense, deixo os meus agradecimentos.

1977年5月15日

バスター 郵便局長

こけ生捕るのである。瞬く間に十匹ばかり引掛けた岸の諸都市を観光するブラシル人も大変多いというが、よくぞ尽きずに居るものだ。此の蟹捕りの子供はこぞである。

も午前中だけで、満潮時には魚場が水につかるので休業だ。

### ○ 針金の蟹捕り道具童もち

沖を望むと、今瀬般アンドラウス号が静かに入港。乗客が少くない。こんな事を経費がつくならどうして来た。沖と云ってもボンダーデ、フライヤは、かと、要らぬことを心配していると、サントスは、広い所で五、六百位の狭い水道だからすぐ目の夜はこの外美しく、夏季ともなれば、席を求めて前だ。アンドラウス号はイタリアの豪華船で、外観夜景を楽しむ遊覧客が非に多いのだと云う。

より設備や内装に金をかけて超一流の観光船たさうである。毎年今頃にたると、イタリアから大勢のうのに、赤や青のイルミナツソンを飾った満艦飾の観光客を乗せて来るのだと云うのである。ロイリンニマ号がまるでお伽船の楫舟の様に沖を廻

娘が三年程前にアンドラウス号でサントスから、って目覚めよう。移民として渡伯して以来初めて船上から眺めるサントスの市街は想像以上の立派な町で、大いに忍心を少し記して見たいと思う。

アンドラウス号は七千キロにも余るブラシルの泊させられた。それに最近当局から海水の汚染を警告岸諸都市を航行しなから約一カ月を費して往復するされていろサントスの海が、意外に綺麗なのにも大なのである。上陸すると港口に観光会社のオニブスカいなる安心感を抱いたものである。

待期して不馴れな外国人にも何の不安も与えず、私に先年訪日した時もう何回か来伯してブラシル、充分に観を楽しませてくれる。上陸中も、宿泊、には大変由縁の深い海上自衛隊の護衛艦あきづきに食事もすべて船内でする事になっていて、従って諸乗艦して東京湾を一周した、忘れられない思い出がある。

経費すべてが既に船賃として払い込んであるのだ、ある。人口一千余万を誇る大東京都と雖も高層建築少しも心配はいらない。至れり尽せりの大変豪華な林立する海岸通りは、リオ市と共にブラシルの表もので、船長からボーイに列るまで皆純イタリア人玄關を自負するサントス市街の美事さにはとてども及ばかりで、此の豪華船アンドラウス号を利用して泊ないのではなからうか。以上次号へ

# 仲尾雅四郎氏の巻

著者 岸本立陽

「君はパラグワイ軍艦の射撃教官になつてくれまいか。始軍曹任官で六十ペソを払う」

「私はアルゼンチンで百二十ペソ貰つていました」

「君が一年位い辛抱してくれば百五、六ペソ払つてやる」

「隊長、ありがとうございます。私にはブラジルに待つて居る仕事がありますので、其方に行かねばなりません」

「どうか、情しいことだ。君がブラジルの仕事が終わらぬなら是非や、て来てくれ。わしは君のや、て来るのを待つて居るぞ」

通り一瀟の日本人に対して斯くまで信用してくる隊長の厚意に感謝して、再び重い旅袋を肩にして出かけようとすると、隊長がポケットから上等の葉巻と煙草を取り出して、

「君疲れた時吸んでくれ。……体を太きにして旅をしてくれよ。それから何所か面白いことが起つたらわしに知らしてくれ、君の保護は責任をもつから」

と云つて一葉の名刺を渡してくれた。名刺には「パラグワイ第二軍団少将マノエル・シルバ」と書いてあった。

## 待望の国ブラジルへ

南米の何所かに、世界の理想郷はある筈だ。それは何所であるかは知らないが、南米中を遍歴して探すのだ。……とペルーから智利に渡り、雪のアンデスを起えてアルゼンチンに行き、パラグワイを横断し、愈々ブラジルにやつて来た。そしてパラナ河岸の美しい河口の町ホルト、エスペランサに辿り着いた。

ブラジルに自分の運命の根を下ろすのだ……と思ふと向かぬ雨傘をもちになつて、日本を出る時に着て来た一張羅を行李の底から出して刷毛をかけてゴミを払い、頭髪には香油を塗つて七分三分に綺麗に分け粗布板敷の宿に着いた。宿には煉けたカンテラがぶら下つて、人相の悪い、二癖も三癖もありさうな土方達の顔を照らしていた。夕飯を食べてから宿の親爺はテロテロと仲尾の顔を見ながら

「お前さんは此所へ何しに来たのかね」

「鉄道の仕事がある」と聞いてやつて来ました」

「アハハハ、おめえさんの顔には一つの傷痕も見えねえが、鉄道工夫ちゆう仕事は酒を飲みまくつて喧嘩をぶちまけるのは仕事みたいなものだ。おめえさんは喧嘩をぶちまけたことがあるかね」

「喧嘩をしたことはありませんが、喧嘩は怖くはありませぬ」

「アハハハ此所らの喧嘩は犬の噛みつき会いとは違ふんだ。刃物をぐさり腹に突込みやがるだ。鉄道の土方は気風が荒くて直ぐ殺つつけちまうだよ。喰うか喰われるかの喧嘩を毎晩やつてけつかるだ。おめえさんの様な無傷の兄さんの来る所ではねえだよ。」

## お知らせ

# 陸上競技大会

バストス連合青年団支部対抗

日時 来る五月二十五日 午前八時開始

場所 病院の向う側PII教団のコンポに於て

今回の競技に出場優勝者にはペテラーノからメダリーヨを贈呈されることに打つて居ります。

○今回の陸上競技開催に当り陸上ベテランの諸氏より多大の御寄附を頂戴致しました。

後日詳細に発表致しますが、取り敢えず厚く御礼申上げます。

## 予告

# 汎パウリス多陸上大会

来る六月五日(日曜日)

場所 DECIANO GUETIRA

FIGUEIRDO

## 主催 バストス連合青年団

○来る五月二十八日及び二十九日両日、聖市イビラヴェーラ競技場にて開催される南米陸場競技大会にバストスより三十名程選抜して競技見学に派遣させたいと思つて居ります。

以上

わるいことは言ひねえ、鉄道方だけは止めた方がいいだ……」

「鉄道工夫をやるつもりで此所まで来たのです。……今更引つ返すわけにはゆきません。鬼が出ようが、蛇が出ようが構いません。酔っ払いのドス位いで逃げ出す男ではありませんから、一つ其の仕事世話を下さい」

「日本の兄さん、なかなか見上げたいい度胸だ。そんならわしについて来るかい」

件で行かれた所は牛糞の一杯たまつて居る貨車の中だ。

「夜は此所で寝るだよ。荷物は其の中に置きねえ、仕事は親分の指図でしールの枕木運びをするだ」

と言つて宿の親爺は帰つて行った。牛糞のたまつた貨車の中に突立った時「ああ、此所が自分の求めて来た理想の国かあるうか。遠く、と南米の幾山河を起えて来た理想の国は何という殺風景な、そして惨めな現実であろう。」

つづく

# 仙人掌俳句

五月分

- 初霜の気配して夜のしじまかな
- 山眠る異国の墓地に父母眠る
- 初霜や温床をぬぬ雛の群
- 宮崎北眠
- 帽子岩にり落ちそう山眠る
- 眠る山に深々入りて蘭取らん
- ファベールのこぼれ落そう山眠る
- 真木真水
- 初霜にふくらみ合って番鳩
- 初霜や丸くふくらみ軒雀
- 植林の松ふところ山眠る
- 佐藤耕雨
- 街角を曲がり寒風まともなる
- 初霜や菜園の敷き藁の上
- 野良犬の如く寒風をさまよへり
- 梶山双樹
- 開通式すみ七国道山眠る
- 国境に英霊碑あり山眠る
- 石切りの発破の音や山眠る
- 太郎田みどり
- 寒風や破れズボンでピンカ買う
- 山眠る禿山多きミニナス路
- 初霜や朝寝ゆるさぬ糸工場
- 太郎田去念
- 宙をゆる五キロドラード釣り落し
- 大南風北吹風の港町
- 涯しなきパンバの小径山眠る
- 仿々木南天子
- 初霜や午前八時の屋根雪
- 梶山米子
- 初霜や被害なかりし野菜畑
- 織田糸音
- 爰霧にひねもす抱かれ山眠る

## こそ泥棒に御注意

ここ一週間程前からシッパチヨの方であちこちに泥棒に入られたという噂を耳にしていたが、こんどはシャールウ辺で盗難にあったというし、市街地でも二、三カ所こそ泥にわられたとい話を聞いた。

この五月から最低給料が四〇%も上がったので農家でも日雇いや、庶務人を打るべく使いたないようになつた、というより高給を支払って採算がとれないのでカマフラダを減首にするより仕方がない。従つて失業者が増え、その失業者が生活上やむを得ず泥棒化するのであらうが、しかし泥棒に入られはかなわぬ。用心するに越したことはない。登のうちだといつても必要のない戸口は閉めて置くこと、洗濯物は乾いたら早速に取り入れること、夜寝る前に戸閉りを厳重にしておくこと、戸外に決してハシゴを出しておかないことだ。

連載小説

## 蒼氓

そうぼう

18

著者 石川達三氏

### 第二部 南海航路

見送りのランチ二隻と、見送の船が船尾の空に六七羽と、それもあきらめて引さかえしてしまつと、日本よさらばだ。船は波止場のししを廻って港外に出た。船尾にひと筋の白い跡を水の上に残して、五色のテープの切れはしを欄干にひらひらと漂のようになびかせながら、南々西南、紀淡海峡に向つて走つた。次のとまりはホンコンである。早春のまた寒い海の上は黄昏が早く来て、波は暗くなりはじめた。六甲の連峯がうす黒く空の下に消えてゆき、神戸の灯も刻々に小さく遠くまたたくばかりであった。移民達が日本への最後の愛情をこめて欄干につなげたテープのはしを、船のボーイが一つひとつ解いては北風の海の上に投げすてた。すると船はたろまろ日本から解放された身軽な姿になつて速力を早めた。風が強いので船は揺れていた。

一番前の船にある三角に突つた室がA、F。ここには北海道の移民たちが三十人ばかり居た。次がA室。青森から秋田、岩手あたりの二百人がいる。その次がB室。ここには福島から新潟、長野、金沢などの二百四十人がいた。船の中央部にある企業移民たちの小室が七つ。これをまとめてCとした。一室に五人から十人位である。次のD室は滋賀、兵庫、岡山、広島、の二百三十人がおり、最後の室には九州の二百人あまりがいた。

A、Fと最後のEとは船の両端になつていたので揺れ方が一番はげしく、走り出すとすぐにみんな船酔いで倒れてしまった。中央のCは汽船室が近いのでインシンの響きが枕をふるわせた。

午後五時、どの室でも最初の食事がはじまつていた。室の中央にはハツチの大きな穴があり、その穴に板で蓋をしてある。蓋の上にテーブルをならべ木のペンチをおいて、これが食堂であつた。一室の全人員を三組にわけて三度に食事をすする。一切れの塩魚、一焼りのほうれん草、麦飯。上甲板の銃を打つた鉄板が頭の上に低く光っている。カーボン、ランプがぎらぎらと食卓の上を照らしていたが、室のまわりに無数の鳥籠をつみ置いたようなベッドの奥は暗くしめづらくて、船酔いの喉を鳴らす音が不気味にきこえた。

「姉しゃん、飯食わねか」

鉄格子のベッドに横たわっているお夏の肩に手を置いて孫市が言った。姉はかすかに頭を振った。毛布を頬までかぶつて、その上に見えている顔が蒼ざめていた。

「食べた方がええ、食わねば余計苦しいぞ」

お夏はもう何も答へなかつた。彼女は船出のときこの室へ逃げこんでひとり泣いていたときかう、まだひとこと物言を言わなかつた。彼女の上のベッドには門馬さんの婆さんがいて、これも船に乗ったときからまだ物言を言わず、船酔いに悩んでいた。

死亡通知並に会葬御禮

此の度私共の妾男、クリスチャン剛儀ツパン市の産院で医師の努力も空しく生後十七時間の短命で五月十四日午前二時に永眠いたしました。依って同日午後四時にバストス福音ホーリネス教会にて田名綱牧師司式のもとに告別式を行い、バストス墓地に埋葬いたしました。

此の儀平素より御交誼を戴いて居ります皆様に謹んでお知らせ申上げます。尚葬儀に際しましては御多忙中の処態々御会葬下され、その上御鄭重なる御香料並びに御供花を頂き誠に有難く厚く御礼申上げます。誠に勝手乍ら週報紙上をもって厚く御礼申上げます。

一九七七年五月十五日

バストス中央第四区

喪主父 森重五男

〃 オリнда

祖父 森重清

〃 扶美

他 遺族 一同

親戚代表 桓本三郎

バストス中央 第四区 様

バストス市 会議員 一同 様

バストス市 役所 様

バストス福音ホーリネス教会 様

バストス山口県人会 様

会葬者 御一同 様

Organização Social de Luto ARegional

Rua Adhemar de Barros nº 295, Fone 361 Bastos E.S.P.

Residencia no local, faça Bastos crescer prestigiado

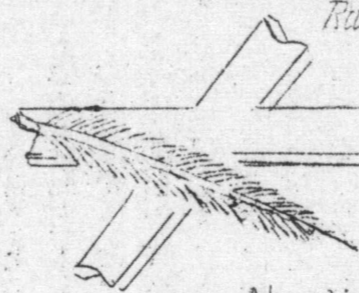
seu comercio sobre direção de aparecido feliano

ribeiro EX Funcionario da Funeraria SÃO PEDRO

artigos funeraria prestação serviço Flores coroas

Velas Hossenko.Hihai e artigos para UMBANDO em geral

Atendimento pelo INPS e funrural. atende-se dia e noite



葬具店フネリアサンペードロ

後藤さんのガソリンポストの向い側で開業して居ります。高級棺の外生き花、花輪、ローソク、センター、位牌、等仏式用一切準備して居ります。昼夜受付けて居ります。故電話で御用命下さればすぐお届け致します。尚INPS受付致します。

アデマル = ハーロス街 295 電話 361番

金一封也 御礼

このたびは森重クリスチャン剛さんご急逝、御葬儀の御前記のご献納いただき、あつく御礼申上げます。

バストス福音ホーリネス教会 森重家 様

孫市は姉の傍をばなれて食卓についた。そこでは門馬義三や勝治などが船酔もせずにかつがつと食っていた。魚に向けた箸が船の傾いた拍子にはうれん草の方へ行く。

「わあ！ 著の的がはずれッぞ」

「この魚、何としても捕まッね、まんた生きさかたか」

「二三人のホイイがシマツ一枚になッて室と炊事場のあいだを走りまわッていた。同じ室の大泉さんが

表原さんをささッて、二人で四合瓶の酒をのんていた。

「船酔だば酒コ一番ええ薬りだ。酒に酔ッてれば船

に酔わね。酔と酔とで帳消しだ」

「酔と酔とで二倍にならねか」

「ンでね、帳消しだ。これに限る。なおったべ表原

さん」

「ああ、何ほかえぐなッたして。だどもしや、フラ

シルさつくまで四十五日、酒コ飲み通したばたまッ

たもんぞね」

「なあに、俺あ歓迎だ。大歓迎だ。あハハハハ」

特別三等C室に居る企業移民の食堂は上甲板にあ

ッて、丸窓が一行に並らんだむこうに四国の灯がち

うちらと見える。ここには多少上品な食事がはじま



まっていた。金持ちの勝田一家の隣りには、小水助監督がうすくまえてきた。勝田を動かしてもくもくと麦飯を食っていた。その隣では耳下肺炎の堀内さんと、同じ再渡航の鹿沼一家とが食争をして居た。鹿沼寛太郎はブラジルで相当の土地を持つ地主で、いわゆる成功者の一人であった。そこで山陰でまた百姓をしてゐる両親をブラジルに連れて行って孝行したいというわけで、女房をつれて日本に帰り、此の船で親子四人が海をわたって行くのであった。老父母をつれて日本を去る気持は、ブラジルの土に根をおろしてしまつてもりであった。彼が珈琲で成功しても両新が日本で生きてゐるあいだは、彼は日本に執着する感情はなぐさまなかつた。両親を日本から連れ去つたのちには、もはやブラジルこそ彼の郷土にならう。いわばこの航海は、彼にとつては日本の土への離別である。こうして移民は植民地へふかく根を下ろして住みついてしまふ。老父母を連れて行く移民は一番決心の堅い家族である。しかし鹿沼清兵衛は左の眼からいつも涙が流れてゐた。神戸の医者はドラホームかと思つて心配したが、調べて見るとカラヌの義眼がはまつてゐるのであった。

鹿沼清兵衛はもう七十近い老人であるが、丈が高く骨ぐみがしつかりしてゐて、まだ充分に力ける百姓であつた。カキ色の狩服を着てゐるのに、彼の姿から結核の野良着をつけてゐる様子が想像された。それはどに土のしみついたからたつきをしてゐた。彼はただ茶碗のなかばかり見つめて黙々と食事をしていた。息子の寛太郎が何か話しかけてもろくに返事もしなかつた。彼はもう母が少し遠くなつてゐた。

この連中は下の移民たちよりは多少金まわりの良い連中であるが、料理は同じ一切れの塩魚と一塊りのほうれん草であつた。そして一番上の一等食堂では真白い布をかけたテーブルが幾つも静まりかゝつてゐて、天井には虹を反射するシャンデリアがあつて、拓務省から南米へ派遣される富田君と宮井君とが、ホンコンに派遣される海軍少佐の某氏と車をかこんで、フライド・ロブスターや、ビーフステーキ、カントリタイプなどを上品に食つてゐると、船長テーブルでは村松移民監督が、なにか焦たしげにパンにバターを塗りつけてむしむしと食つてゐた。食争がすむと二人の監督は事務長の室へ挨拶に行つた。事務長は三十四五の円顔清藤打男で、欧州大戦後にドイツあたりへ行つた船乗の例に似れず、散々に放蕩をしつゝしたあとのふてぶてしい自信を頼りにたたえて、二人に「キー」紅茶を出して話した。

それから医務室の隣りに監督事務室という四畳半ほどの室をもらひ、早速これから仕事にとりかゝることになつた。

午後八時、特三食堂に全家族の家長を集合させた。しかし二百九家族が来まつたものは五十三人にすぎなかつた。あつた船中と神戸以来の風邪がまいてゐる。ここで船長以下の高級船員の挨拶があり、ドクターは明朝からコシラの子防注射をすることを告げ、事務員は船内生活の注意を述べた。清水節約、入浴の順序、便所の使用法、洗濯の場所と時間、その後で村松監督からA B D E四室について、

室長一名、副室長二名ずつを指名し、監督と連絡をとつて仕事を手伝わせてもらうように頼んだ。航海の最初の夜はふけて、丸窓の外には暗い海がひろかつてゐた。水平線が銀色に光つて、月が浮いたところであつた。月を左舷船尾に見るからには、紀淡海峡をぬけて四国の南に向かおうとするところであろう。デイゼルエンジンの響が枕につたわつてきて、移民たちは寝苦しい夜であつた。A室の暗い廊では大泉さんが酔酔も知らずに高い聲をたててゐた。孫市は眠られぬままに枕の下からバットを出して火をつけた。隣りお夏がいて、眼の上には門馬一家の寝てゐる鉄格子の底が頭のつかえるように低いところにある。

### 求む 外交員

今回事業を拡張致しましたので、店舗用の裝飾欄を製作して大変好評を戴いて居りますが、この裝飾欄を各都市の商店から註文を取つて下さる外交員を至急に求めます。年令と経験の有無問いませんが、日本語を多少解する方を望みます。御希望の方は本人が御来訪下さい。ルア、プ、ヴァルガス四四二番地 電話三三〇六番

### 吉川製作所

### おしらせ

### 西式健康法の座談会

#### 研究会並びに実演

今回サンパウロ西会より左の方が来植されます  
塩沢弘理事(西勝道先生来伯の際、直接受講された方)  
岡村幸雄書記(今ウチ症を西式健康法で全治された方)  
井口吉三郎氏(元 井口種鶏場主)  
井口氏は現在老人ホーム(養老院)を私財にて建築中です。すでに七、八名の老人の世話をし居られる方です。

会員の皆様は勿論一般の方、特に老人の御来場を御待ちして居ります。何卒お気軽にお出下さい。(会費不要)

期日 五月二十一日(土曜日)午後七時半

場所 バストス総合会館 会議室

主催 バストス西会支部

後援 バストス明老会

# Auto Mecanica BASCAR LTDA

Rua Adhemar de Barros-295. Fone:-156 Bastos E.S.P.

Agora em Bastos há um oficina que você esperava. com mecanicos especializados em VOLKS WAGEN e CORCEL. retifica de motores com assistencia preços modico a Auto mecanica BASCAR LTDA. e tudo que você esperava de uma Auto mecanica. Agradecemos A sua preferencia.



アウト  
ボウ

皆さんおまろかねの  
ホルクスワーゲン車  
並びにコルベル車専  
門のオフィーナを当地  
バストス市に特設開業し  
て居ります。最高技術のニク  
ニクが荷様の愛車を完全修理  
と調整で最高の性能を發揮  
し修理費は奉仕的安価で御  
用命を頂いて居ります。

ルア・アメル デ・バロス二九五番地

アウトメカニカ

バスカル商会

電話 一五 六 番

# NOSSA RELOJOARIA

TAKAMI SHIBATA Rua Adhemar de Barros 213, Fone 154 Bastos

ルア・アメル デ・バロス二一三番地

レローシヨアリア タカミ

柴田時計店

電話 一五 四 番

## 記念品とお祝の贈物

は当店でお選びください。

時計は世界中の高級品  
柱時計から腕巻き眼鏡し。遺品計まで一切

カラーテレビジョン

テレビは白黒の時代は過ぎました。

ステレオグラブドル

家で居て実演そのままが楽しめます。

ポケット用電子計算機

右パンのかわりに簡単に正確な計算ができます

結婚祝の記念品に

贈るものおえらび下さい

おみやげ用品色々

# Aviso de Cine Bastos

五月二十日(金)八時 二十一日(土)九時半 監督 山根成之  
松竹 どうぞ 由美おろる 入川保則  
総天 同棲時代 伸 雅美 安田 伸  
然色 愛するものが美しいことは早く終る。愛すること傷つくこと。愛することが何時までも美しくないのは……  
五月二十二日(日)九時半 二十三日(月)八時 監督 福田 純  
東宝 さんせん きのの わな 田宮二郎 谷口 香 永井哲雄  
総天 3000キロの罖 沢 美枝 米岡雅子 高森 玄  
然色 殺人者の待道(下)は疾走する。男の夢と命を賭けて。鹿島島から北陸を経て北海道のさべつまでの長期ロケ敢行ノ  
五月二十七日(金)八時 二十八日(土)九時半 監督 原作 山田洋治  
松竹 (寅次郎 忘れな草) 握美 清 三崎千恵子  
総天 男はつらいよ 倍賞千恵子 松村達夫 笠智衆  
然色 逢っているときは何とも思わないけど、別れた後で妙に思い出す人がありますね。どうして人ですま、あの人は、  
五月二十九日(日)九時半 三十日(月)八時 監督 小谷承靖  
東宝 ゴキブリ刑事 第二弾 渡 哲也 丹波哲郎  
総天 ゴキブリ ザ・ゴキブリ 沖 雅也 峰岸陸之助  
然色 この街は腐り切つてゐる。市長も署長もゴキブリと一緒になつて捕えてやる。 植ひとみ 本田みち子  
六月三日(金)八時 四日(土)九時半 監督 山沢茂弘  
大映 望郷子守唄 高倉 健 新人 松平純正  
然色 親の情けに背を向けた、馬鹿な男の行く先きは、渡世のしがらみ、血染めの修羅場ノ  
五月五日(日)九時半 六日(月)八時 監督 中島貞夫  
東映 暴力金脈 松方弘樹 渡 玲子 若山富三郎  
然色 組織暴力をバックに脅迫、密殺人の高法ノ大資本のカラクリにくらいついたノ、 梅宮辰夫 丹波哲郎 大瀬英治